―― グリーンチャンネル解説者 ――

桧原 正行

中山千二でOP特別2勝、1分09秒3の持ち時計が光る**ニシノコンサフォス**。昨年のガーネットSも前半33秒00のハイラップを踏んで0秒2差③着。自分のリズムで先行できれば勝機は十分。

黒津 紳一

忙しい小回りコース+59キロの前回も小差②着、衰え見られない**プリサイスマシーン**が中心。右回りのダートはレースぶりに安定感あるし、馬場問わない先行力もここでは大きな魅力。

中山11R TMイチ推し ⑦スリーアベニュー

2週連続で好内容 全面的に良化した

11R			1600	1000	800	600	200	コース脚いろ
①プリサイスマシー	栗坂	助手		60.2	42.4	13.2		馬なり
9南BW稍助	手			65.0	50.2	37.3	12.9⑥	直一杯遅

(古オープンメテオバースト馬なりの内半馬身遅れ)

→ 同格に動き劣ったが、ビシッと追われ好気迫保つ。[B]

②メイショウ栗CW良	△81.4	66.1	52.9	39.7	13.4⑨	叩一杯併

(連闘のため中間軽め)

→ 連闘でも問題はないが、スピード比べでどうか。[C]

③ノボトゥルー 栗坂 助手 ―― 39.2 13.4 一杯追
19栗坂助手 544 395 136馬なり
23栗坂助手 540 400 142強めに 28栗坂助手 ― ― ―一杯追
3栗坂助手 532 388 134一杯追 10栗坂助手 535 397 137一杯追
→ 伸び切れずに物足りない。頭打ちぎみで平行線。[C]

④ベルモント船ダ良 63.8 49.8 36.9 ―― 馬なり併
12船橋ダ良石崎駿 56.4 41.7 13.8⑥馬なり
21船橋ダ良石崎駿 68.3 54.4 40.9 13.8④馬なり
31船橋ダ重石崎駿 64.0 50.1 37.8 13.0⑤馬なり
9船橋ダ良石崎駿 61.1 47.9 36.3 12.0⑤強めに
12船橋ダ良石崎駿 61.6 45.0 15.1⑤馬なり
☆ 終いまでバテずに駆け抜けた。馬体もたくましい。[A]

⑤アンバージ北C良 △83.1 67.3 53.3 40.3 13.9④強めに
3北Cダ良助 手 △84.8 68.8 54.0 40.6 13.9⑧馬なり併
9北Cダ良助 手 △79.2 64.0 50.4 38.2 13.3④強めに併
(古1600チョウカイシャトル馬なりの内併入)
12北Cダ良助 手 42.4 13.3⑥馬なり
↗ ダートは不安ない走法。身のこなしも軽くなった。[B]

⑥ヤマノルドルフ 美坂 助手 14.1 12.9 ―― 強めに
26美坂助手 136 123 ―一杯追
30美坂助手 513 370 118強めに 3美坂助手 500 367 121G前強
6美坂助手 532 394 140馬なり 9美坂助手 501 362 119強めに
→ 多少太く見えるのは体型。力強い動きで力出せる。[B]

⑦スリーアベ栗B良 △82.1 66.2 51.3 37.8 11.3⑧一杯追
27栗Bダ重河 北 △88.2 72.1 56.3 42.1 12.9⑧馬なり
3栗Bダ良河 北 △81.1 65.4 50.5 37.5 11.4⑧一杯追
◉9栗Bダ良河 北 △80.9 65.2 50.3 37.1 11.2⑧一杯追
↗ 追われるごとに鋭さアップ。体も締まって良化急。[A]

⑧トーセンザオー 栗坂 赤木 51.4 38.2 13.5 一杯追
3栗坂助手 547 394 134馬なり 9栗坂助手 538 382 127叩一杯
→ 前走時より時計は遅いが、デキ落ちはなく順調。[B]

⑨フリートア烘ダ良 52.8 38.1 ―― 馬なり
9大井ダ良和田譲 63.2 50.4 37.4 11.9⑥馬なり
☆ 張りのある馬体で好気合。素軽さもあって好調。[B]

⑩ワキノカイザー 栗坂 北友 ―― 38.5 13.5 馬なり
(連闘のため中間軽め)
↗ 連闘策。叩くと変わるタイプだが、まだ完調手前。[C]

⑪コパノフウジン 栗坂 藤康 53.4 39.9 13.1 馬なり
3栗坂助手 541 396 128強めに
6栗坂藤康 529 395 133馬なり 9栗坂助手 531 383 123馬なり
→ 脚さばきにゆとりを感じる。展開が向けば善戦可。[B]

⑫シアトルバ (連闘のため中間軽め)
9栗Bダ良助 手 △81.2 65.1 50.5 37.4 12.2⑧馬なり
→ 充実ぶりを示す好内容。体調だけなら見劣らない。[B]

⑬ニシノコンサフォ 栗坂 助手 53.3 38.9 13.2 一杯追
4栗坂助手 524 386 127一杯追 9栗坂和田 514 ― 128一杯追
↗ プール併用。直前51秒台のスピードを見せ、上昇。[B]

⑭マイネルアルビオ 美坂 柴山 49.0 35.6 11.9 一杯追
6美坂助手 535 387 124馬なり ◉ 9美坂助手 489 358 121強めに
→ 稽古駆けらしくスピード感満点。動きは文句なし。[A]

⑮トウショウギア 美坂 助手 50.5 36.1 12.1 馬なり
3美坂助手 ― 369 131G前強
6美坂助手 502 386 146馬なり 9美坂助手 ― ― ―G前追
→ 例によってかかりぎみも、強く追って絞れそう…。[B]

⑯タイセイアトム 栗坂 助手 51.7 38.0 13.2 一杯追先
30栗坂助手 564 405 129強めに先
3栗DW良小林慎 △81.9 66.9 52.4 38.7 12.8⑧一杯追遅
9栗坂助手 527 382 123一杯追先
(古1600バトルハートオー一杯を追走3馬身半先着)
→ 併せ馬の内容が光る。力をつけて、ここでも圏内。[A]

日刊競馬ホームページ
http://wwwl.sphere.ne.jp/nikkeiba/

柏木の単複連

7⇄14
7⇄13
14→13
7→4
7→15
7→6
7→10

単 ⑦ 複 ⑦

昨年、一気に差し切った**スリーアベニュー**は中山ダ千二は2戦2勝。前傾ラップになるから、フルに追っての味が生きる。ダ千二は〔6510〕とほぼパーフェクト。

うまやのはなし

①**プリサイスマシーン**〔有力〕
○萩原師=前走後も引き続き好気配。59キロのハンデは楽ではないが、芝・ダートを問わず右回りでは崩れないし、千二にも対応可能。相手関係を考えれば、今回も好勝負になるはず。

②**メイショウシャフト**〔連下に〕
○高橋成師=前走は仕掛けるタイミングがズレて、包まれたり前が壁になったりで力を出せていない。連闘は問題はない。

③**ノボトゥルー**〔軽視〕
△牧浦助手=56キロは有り難いが、さすがに衰えは隠せない。中央の実戦も久々で…。

④**ベルモントサンダー**〔好走可〕
○出川克師=ここ目標に満足できる仕上がり。力もつけているね。いいスタートを切れれば、チャンスもあるのでは…。
【公営馬分析】3走前リミットレスビッドと0秒2差。出遅れたJBCスプリントも0秒4差。充実ぶりは本物。

⑤**アンバージャック**〔穴なら〕
○中野隆師=経験は少ないがダートの走りは問題ない。太めの前走を叩いて上向きだし、そろそろ結果を求めたいところ。

⑥**ヤマノルドルフ**〔好走も〕
○相沢師=気難しさを解消し精神面でも成長、すっかり本格化だね。ここを目標にしてきたから仕上がりもいいし、稽古も軽快。重賞でどれだけやれるか楽しみなんだ。

⑦**スリーアベニュー**〔好走可〕
◎小野師=休み明け、千四でも見せ場は作ってくれた。順調に乗り込めているし、追い切りの動きも上々。ベストの千二で今年も期待している。

⑧**トーセンザオー**〔再度注〕
○飯田雄師=前回はいい脚を使ってくれたが、ダートならある程度の位置で流れに乗りたい。ゲート五分なら、好勝負を期待できるはず。

⑨**フリートアピール**〔押さえ〕
○月岡師=好仕上がり。相手はそろったが、軽ハンデを生かして頑張りたい。
【公営馬分析】千二は守備範囲でもメンバー強化でどうか。

⑩**ワキノカイザー**〔入着級〕
○音無師=元気なので連闘は問題ない。千四だと少し甘くなるので、距離短縮はいいと思う。

⑪**コパノフウジン**〔一発注〕
○増井助手=前回は前半33秒台で少し強引。そう力差は感じないし、うまくスピードを生かせる形なら変わっていい。

⑫**シアトルバローズ**〔枠順鍵〕
○水元助手=千二ベスト。外枠で自分の競馬ができれば、オープン相手でも遜色ないと思う。使い込んでいるが、デキ落ちもないからね。

⑬**ニシノコンサフォス**〔上位争〕
◎宮本師=攻め気配は申し分なし。久々を使って本来の闘争心も戻ってきた。もともと冬場は体調が良く、この距離もベスト。今回は違うはず。

⑭**マイネルアルビオン**〔穴なら〕
○畠山吉師=前回は渋馬場にノメり通し、参考外だよ。パワー型で走法からもダートOKだと思うし、引き続き絶好といえる状態。前半、砂かぶることに戸惑わず追走できれば…。

⑮**トウショウギア**〔力有も〕
○池上助手=右回り自体は以前ほど気にならないが、この斤量…

血が駆ける 山野浩一

アメリカで千二百以下の短距離重賞が少ないのと同様に、日本でもダートの短距離重賞はJBCスプリントと東京盃と北海道スプリントCとこのレースだけだ。今年はカペラSというレースが新設されたけれど、単にこのレースが名を変えて年末に行われるようになっただけで、つまり今年が最後のガーネットSということになる。ダート短距離のコースを取れる競馬場が少ないというのが最大の理由ではあるが、ダートの場合は長距離も少なく、本当は短距離が特に面白いし、種牡馬選択としての価値も大きく何とかしたいものだ。**ベルモントサンダー**は好調時に相手選ばず、馬場も選ばす力を発揮できるアフリート産駒で大駆けも

レース展開

【日曜は回復する見込みだが、ダートは影響が残る公算大。速い流れで差し馬に不利はなくてもスピードがないと届かない】

	外 ← → 内
逃げ	⑪
好位	⑯ ⑬ / ⑮ ⑥ / ⑨ ⑤ ❶ / ⑫ ⑩
中団	❼ ❹ / ⑭ ③
後方	⑧ / ②

ハイペース

3連単 フォーメーション

1着 7
2着 1 4 13 14 15
3着 1 4 13 14 15 16
(25点)

3連複

4-7-15
1-4-7
4-7-13
4-7-14
4-7-16
1-7-15
7-13-15
7-14-15
7-15-16

11R 馬単

7⇄4
7⇄15
7⇄1
4⇄15
7⇄13
7⇄14
7→16

枠連

2-4
4-8
2-8
1-4
4-7

データ

過去の実績	ハンデ有利	コース適性	攻め馬状態
3	13	7	7
1	7	13	4
15	8	6	14
13	4	4	16
5	2	12	13

本紙の見解

《ひと叩きで狙い定めた◎》
○▲主力の馬単勝負

スリーアベニューはダート千二〔6510〕。③着は、スタートで他馬と接触する不利があったもの。昨年のこのレースの覇者でもあり、当然ここは狙い定めた一戦。休み明けで距離も1ハロン長い前走は、ここへのステップ。太めの体で外から鋭く伸びた末脚は、次こそは…を思わす内容。力をつけたベルモントサンダーが相手。《首位有望》

データ室

❶馬連平均=3775円
▼本命決着1回で、⑥人気以下の伏兵が4連対。波乱含み。

❷年齢別成績
▼4歳=3、5歳=4、6歳=0、7・8歳=3。

❸トップハンデ〔2106〕
▼連対8頭は57〜54キロ。

❹実績
▼連対8頭にはダート千二のOP勝ちか芝千二の重賞④着以内の実績があった。

◆ヒント◆**ベルモントサンダー**

◎成績欄中、1着馬名の左のBはブリンカー着用を示します

ガーネットステークス 過去5年

年場所 距離 馬場頭数	1着馬 斤量騎手通過順 性齢 枠人気	タイム着差	2着馬 斤量騎手通過順 性齢 枠人気	①人気	単 馬 馬	勝 単 連
15中山 1200 良16頭	ニホンピロサー 57横山典853 牡五 13 2人	1 104 5	シャドウスケイ 54江田照⑩⑪9 牡四 1 6人	⑮ 着	⑬① ①⑬	300 2620 1780
16中山 1200 良16頭	マイネルセレク 58.5武 豊954 牡五 6 1人	1 103½ 9	ブルーコンコル 55松永幹533 牡四 15 2人	① 着	⑥⑮ ⑥⑮	180 1060 800
17中山 1200 良16頭	メイショウボー 56福 永122 牡四 14 3人	1 103 2	エンゲルグレー 55田中勝15⑪⑩ 牡八 10 16人	③ 着	⑭⑩ ⑩⑭	380 218710 177240
18中山 1200 良15頭	リミットレスビ 56田中勝8⑩8 牡七 10 6人	1 10クビ 5	シルヴァーゼッ 55津 村111 牡五 4 7人	⑤ 着	⑩④ ④⑩	1040 13440 7300
19中山 1200 不16頭	スリーアベニュ 54田中勝14⑭⑫ 牡五 3 3人	1 10¾ 0	リミットレスビ 59蛯 名676 牡八 7 4人	⑬ 着	⑨⑦ ③⑦	520 2800 1640

中山11R 発走15:25

第12回 ガーネットステークス(GⅢ)
(4歳以上、オープン・(国際)(指定)・ハンデ)
ダ1200

レコード 1分09秒1 スーパーナカヤマ 55 武豊 10年1月10日

〔今回推定タイム〕 良 1分10秒台 重 1分09秒台

枠	馬番	馬名	斤量性齢	騎手	厩舎
白1	B 1	プリサイスマシーン	59 牡9	横山典	萩原
白1	2	メイショウシャフト	55 牡5	勝浦	高橋成
黒2	3	ノボトゥルー	56 牡12	村上	
黒2	4	ベルモントサンダー	55	石崎駿	出川克
赤3	5	アンバージャック	56	江田照	中野隆
赤3	6	ヤマノルドルフ	55	松岡	相沢
青4	7	スリーアベニュー	56	武幸	小野
青4	8	トーセンザオー	55	柴田善	飯田雄
黄5	9	フリートアピール	51	内田博	月岡
黄5	10	ワキノカイザー	55	吉田隼	音無
緑6	11	コパノフウジン	55	北村宏	宮
緑6	12	シアトルバローズ	55	後藤	
橙7	13	ニシノコンサフォス	57	和田	宮本
橙7	14	マイネルアルビオン	56	蛯名	畠山吉
桃8	15	トウショウギア	58	田中勝	
桃8	16	タイセイアトム	54	吉田豊	池上

予想: 柏木集保、宮崎秀一、黒津紳一、山口高司、桧原正行、本紙飯田

株式会社日刊競馬新聞社